



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月14日

上場会社名 株式会社 柿安本店
 コード番号 2294 URL <http://www.kakivasuhonten.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0594-23-5500

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	10,245	△0.4	505	8.5	508	5.3	293	22.8
28年2月期第1四半期	10,288	△1.3	466	△14.3	482	△11.8	238	△16.2

(注)包括利益 29年2月期第1四半期 284百万円 (15.3%) 28年2月期第1四半期 246百万円 (△15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	26.88	—
28年2月期第1四半期	20.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	17,779	12,738	71.6
28年2月期	17,689	12,944	73.2

(参考)自己資本 29年2月期第1四半期 12,738百万円 28年2月期 12,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	45.00	45.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,461	2.2	948	2.0	951	0.6	512	△5.8	46.95
通期	44,500	2.2	2,430	1.7	2,440	0.9	1,330	△1.5	121.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	12,446,700 株	28年2月期	12,446,700 株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	1,540,627 株	28年2月期	1,540,627 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	10,906,073 株	28年2月期1Q	11,846,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済金融政策などにより緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の下振れ懸念の他、可処分所得が伸び悩むなかで個人消費の停滞は続いており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、販路拡大への新しい取り組みのひとつとして駅ビルでの事業展開に注力いたしました。3月には、JR新宿駅新南エリアにオープンした「NEWoMan」へ牛肉を中心とした弁当専門店「柿安牛めしNEWoMan新宿」を新規開設した他、仙台市の泉中央駅の駅ビル「セルバ」に精肉店を新規開設し、エキナカ、エキソトへの展開を行いました。

出退店・改装につきましては、「柿安牛めしNEWoMan新宿」を含め計6店を新規開設するとともに、新宿高島屋ダイニングを「柿安上海DELI」との併設店舗として改装する等、3店の改装を行い既存店の活性化を図りました。一方、1店を閉鎖いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,245百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は505百万円(同8.5%増)、経常利益は508百万円(同5.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は293百万円(同22.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

精肉事業につきましては、自社オリジナルブランド牛「柿安牛」をはじめ、高品質な商品をお値打ちに提供するため、精肉加工技術の向上等に注力いたしました。

出退店につきましては、仙台市の泉中央駅の駅ビル「セルバ」に新規開設いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,471百万円(前年同期比1.0%減)、セグメント利益は197百万円(同15.5%減)となりました。

(b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、大人気定番商品『黒毛和牛 牛めし』とうなぎを一緒に味わえる『黒毛和牛牛めし&国産 うなぎ重』を前倒し販売する等、季節の先取りを行う商品展開を進めました。また、出店地域の食材である仙台牛を職人の手で炊いた「ご当地牛めし」として地域限定販売を開始する等、新商品開発の強化を図りました。

出退店・改装につきましては、「柿安牛めしNEWoMan新宿」を含め2店の新規開設、3店の改装による活性化を図りました。

この結果、当事業の売上高は3,084百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益は308百万円(同18.7%増)となりました。

(c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、『柏餅』や『抹茶どら焼』をさらにおいしく改良した『京都宇治抹茶どら焼』、『冷やしバナナ大福』等の季節商品を前倒し投入する等、商品構成の見直しを行いました。

出退店につきましては、口福堂2店の新規開設、1店の閉鎖を行いました。

この結果、当事業の売上高は2,029百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益は317百万円(同24.0%増)となりました。

(d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、旬の食材をテーマとしたアイテムの拡充を行いました。ビュッフェ業態の三尺三寸箸において、栄養価で話題の「オメガ3調味料」アマニ油・エゴマ油を使った料理や、ココナッツ油、チアシード等の「スーパーフード」を取り入れた新メニューを展開いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,251百万円(前年同期比9.1%減)、セグメント利益は26百万円(同68.9%減)となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、健康志向のお客様にご好評いただいている『減塩牛肉しぐれ煮』、ご家庭向けの惣菜シリーズに加え、仕上げにエクストラバージンオリーブオイルを使い、しっとりまるやかに仕上げた牛肉しぐれ煮のアイテムを投入する等、既存商品の磨き上げにも注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は407百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント損失は23百万円(前年同期は3百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、17,779百万円となりました。

流動資産は103百万円減少し、9,659百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少628百万円と仕掛品の増加206百万円及び売掛金の増加180百万円等であります。固定資産は193百万円増加し、8,119百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加174百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加し、5,041百万円となりました。

流動負債は325百万円増加し、4,269百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加250百万円及び賞与引当金の増加180百万円と未払法人税等の減少171百万円等であります。固定負債は28百万円減少し、772百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少37百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ206百万円減少し、12,738百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少197百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年4月11日に発表いたしました「平成28年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(有形固定資産の減価償却の方法)

当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更等による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の31.5%から平成29年3月1日に開始する連結会計年度及び平成30年3月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については30.2%に、平成31年3月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については29.9%となります。

この税率変更による影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,320	5,692
受取手形及び売掛金	2,628	2,808
商品及び製品	268	343
仕掛品	164	370
原材料及び貯蔵品	158	192
繰延税金資産	187	236
その他	34	14
流動資産合計	9,763	9,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,231	3,406
土地	2,270	2,270
その他(純額)	730	768
有形固定資産合計	6,232	6,445
無形固定資産		
その他	149	157
無形固定資産合計	149	157
投資その他の資産		
投資有価証券	178	172
繰延税金資産	198	183
差入保証金	778	837
退職給付に係る資産	84	78
その他	304	244
投資その他の資産合計	1,544	1,517
固定資産合計	7,926	8,119
資産合計	17,689	17,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,215	1,466
未払金	552	451
未払法人税等	399	228
未払費用	926	1,032
賞与引当金	355	536
役員賞与引当金	42	9
その他	451	544
流動負債合計	3,944	4,269
固定負債		
長期借入金	212	175
資産除去債務	493	510
その他	94	86
固定負債合計	801	772
負債合計	4,745	5,041

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269	1,269
資本剰余金	1,074	1,074
利益剰余金	13,190	12,992
自己株式	△2,641	△2,641
株主資本合計	12,892	12,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△3
退職給付に係る調整累計額	51	47
その他の包括利益累計額合計	52	43
純資産合計	12,944	12,738
負債純資産合計	17,689	17,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	10,288	10,245
売上原価	5,303	5,249
売上総利益	4,984	4,995
販売費及び一般管理費	4,518	4,489
営業利益	466	505
営業外収益		
受取利息	0	0
工事負担金等受入額	10	—
その他	9	5
営業外収益合計	21	5
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	2	1
営業外費用合計	4	2
経常利益	482	508
特別損失		
固定資産除売却損	7	0
その他	7	—
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純利益	468	507
法人税、住民税及び事業税	245	244
法人税等調整額	△15	△30
法人税等合計	229	214
四半期純利益	238	293
親会社株主に帰属する四半期純利益	238	293

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	238	293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△4
退職給付に係る調整額	△3	△4
その他の包括利益合計	7	△8
四半期包括利益	246	284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246	284

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,505	2,993	2,012	1,376	401	10,288	—	10,288	—	10,288
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	298	2	26	3	65	397	—	397	△397	—
計	3,804	2,995	2,038	1,380	467	10,686	—	10,686	△397	10,288
セグメント利益 又は損失(△)	233	260	256	84	△3	831	—	831	△364	466

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△364百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△377百万円及びその他調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年3月1日至平成28年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,471	3,084	2,029	1,251	407	10,245	—	10,245	—	10,245
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	270	3	19	6	65	365	—	365	△365	—
計	3,742	3,087	2,049	1,257	473	10,610	—	10,610	△365	10,245
セグメント利益 又は損失(△)	197	308	317	26	△23	826	—	826	△320	505

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△320百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△333百万円及びその他調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。